

ドストエフスキー五大長編 翻訳完結記念
 亀山郁夫講演会

ドストエフスキーとの17年

フョードル・ドストエフスキーの五大長編

『罪と罰』『白痴』『悪霊』『未成年』『カラマーゾフの兄弟』

17年かけて取り組んだ全21巻（『賭博者』『新訳 地下室の記録』を含む）の翻訳が完成

今、なぜドストエフスキーか

ドストエフスキーが現代に問いかけるもの

ドストエフスキーと共に過ごした年月について語り尽くします。

2023年

7 31 月

16:00~17:15

亀山 郁夫 (かめやま・いくお)

名古屋外国語大学学長・WLACセンター長

名古屋外国語大学学長。専門は、ロシア文学、ロシア文化論、ドストエフスキーに関する著書多数。ほかに、フレーブニコフ、マヤコフスキーなどのロシア未来派研究、作曲家ショスタコーヴィチに関する著作をはじめとするスターリン時代の権力と芸術をめぐる文化研究など。著者に、『甦るフレーブニコフ』『ドストエフスキー 父殺しの文学』『謎解き『悪霊』』『露のロシア - スターリンと芸術家たち』（大佛次郎賞）『熱狂とユーフリア』『ショスタコーヴィチ - 引き裂かれた栄光』など。自伝風エッセー集『ドストエフスキーとの59の旅』は、ロシア語に翻訳された。作家としては、『カラマーゾフの兄弟』を1990年代の日本に舞台を移して描いた『新カラマーゾフの兄弟』（三島由紀夫賞にノミネート）がある。翻訳者として、ドストエフスキーの五大長編の翻訳を、日本では60年ぶりに単独で完成。2023年1月に最終巻が刊行された。



『カラマーゾフの兄弟』

全5巻、光文社古典新訳文庫 [1]、2006-2007年
 ※最終巻はエピソードと作品論・解説

『罪と罰』

全3巻、光文社古典新訳文庫、2008-2009年

『悪霊』『悪霊 別巻「スタブローギンの告白」異稿』

全3巻+1冊、光文社古典新訳文庫、2010-2011年・2012年

『白痴』

全4巻、光文社古典新訳文庫、2015-2018年

『未成年』

全3巻、光文社古典新訳文庫、2021-2023年

会場 名古屋外国語大学
 5号館511教室(対面方式)

定員 130名

共催 ワールドリベラルアーツセンター
 大学事務局

応募締切 7月25日(火) 17:00

※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。
 定員になりましたら締切日前でも募集締切とさせていただきます。

申込方法

準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。
 右記のQRコードを携帯端末やスマートフォンで読み込んでいただくか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申し込みフォームに必要事項を入力、送信してください。

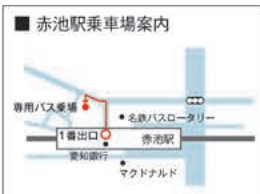
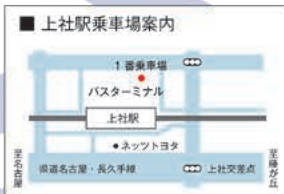
参加無料
 要申込
 先着順



<https://req.qubo.jp/wlac/form/20230731>

本学へのアクセスについて

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



イベントの開催にあたって

- ◎ご来場前に必ず当該イベントのホームページにて開催の有無をご確認ください。
- ◎会場では感染症対策のため、換気を行う場合があります。発熱・咳などの症状のある方は、参加をご遠慮ください。
- ◎本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。イベント中は記録用として撮影を行います。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。

問合せ先 名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター
 Tel: 0561-75-2164 (直通) mail: wlac_gg@nufs.ac.jp